

## 5 年間発育量の世代間比較

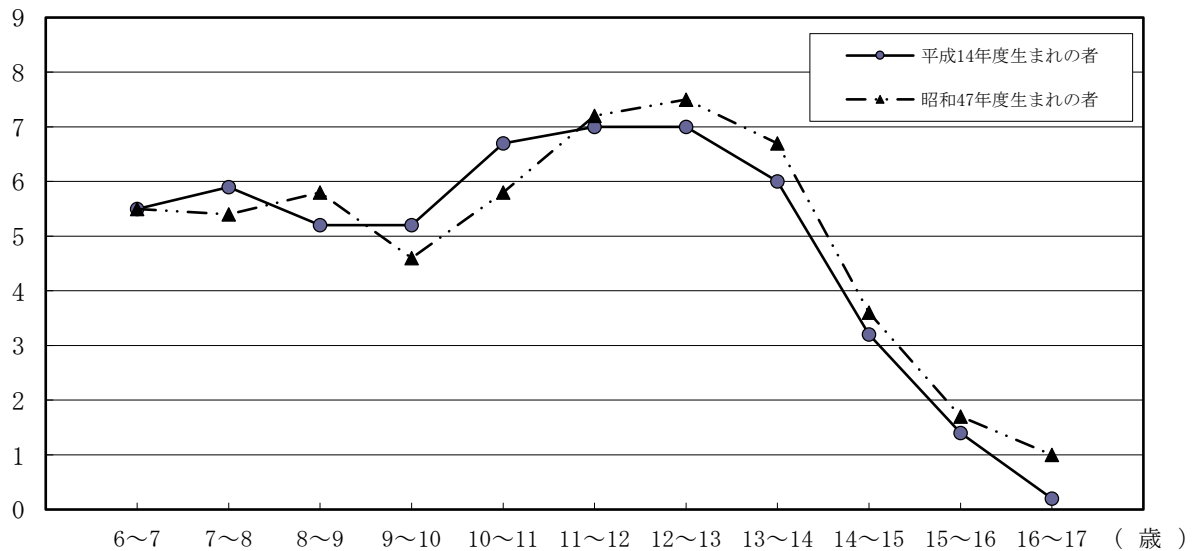
令和2年度調査で17歳に該当する「平成14年度生まれの者」と、30年前の「昭和47年度生まれの者」（親世代）について、6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量を比較すると、以下のとおりになります。

### (1) 身長 (図9、図10、表7)

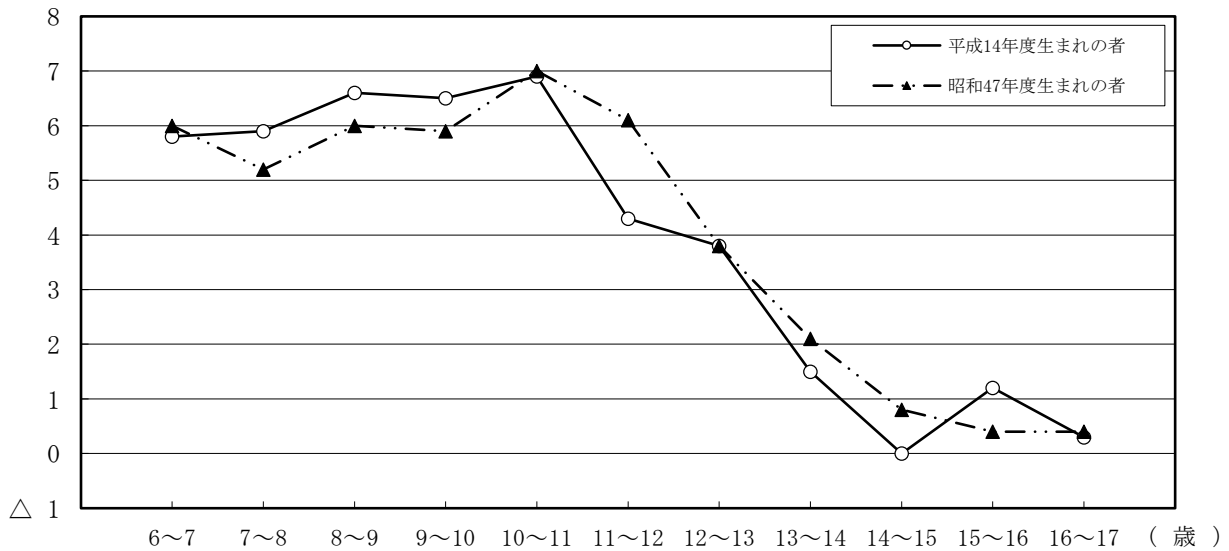
身長が最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成14年度生まれの者」が11歳～12歳および12歳～13歳で7.0cm、親世代は12歳～13歳で7.5cmとなっています。女子では、「平成14年度生まれの者」が10歳～11歳で6.9cm、親世代も10歳～11歳で7.0cmとなっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成14年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。女子では、「平成14年度生まれの者」と親世代で同時期となっています。

(cm) 図9 平成14年度生まれの者と昭和47年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・男子)



(cm) 図10 平成14年度生まれの者と昭和47年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・女子)

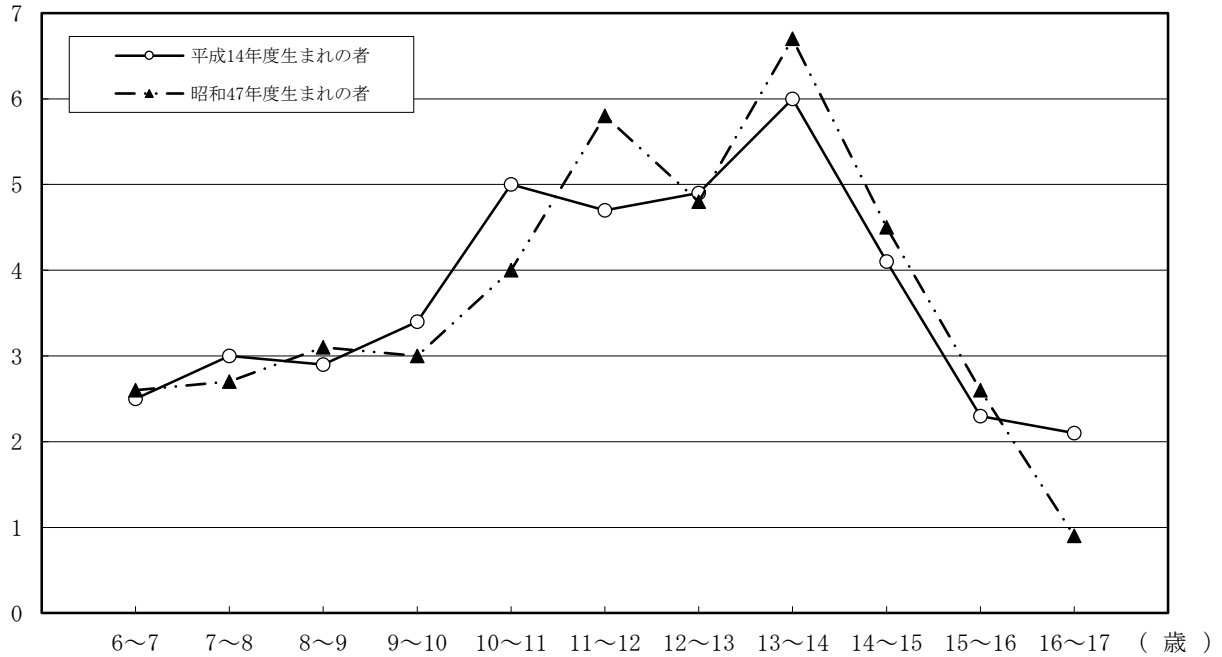


(2) 体重 (図11、図12、表7)

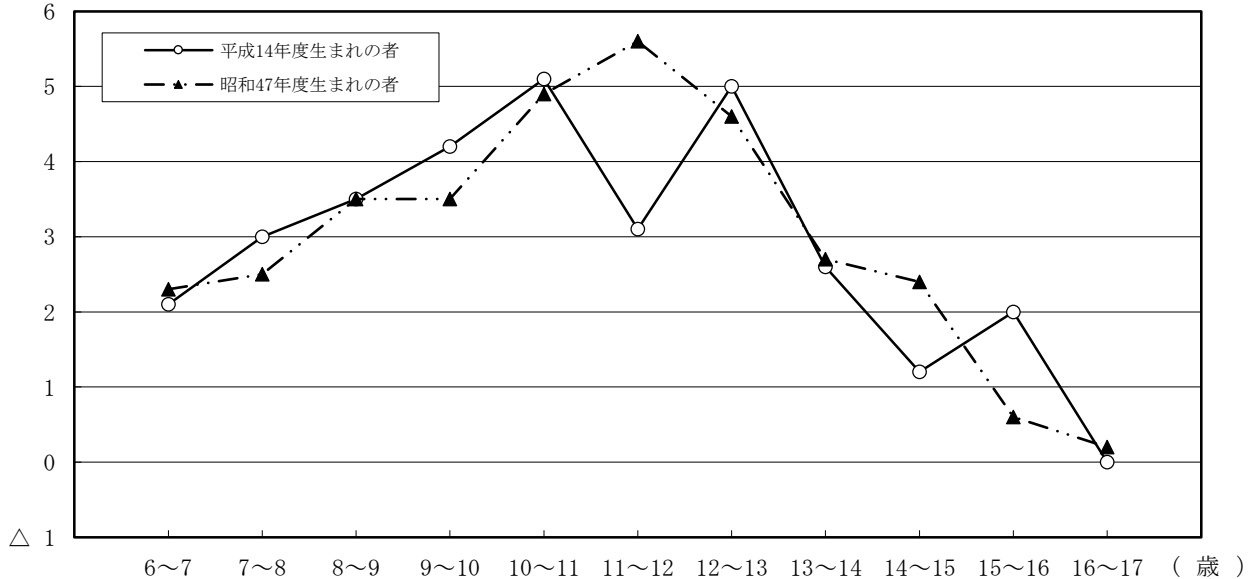
体重が最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成14年度生まれの者」が13歳～14歳で6.0kg、親世代も13歳～14歳で6.7kgとなっています。女子では、「平成14年度生まれの者」が10歳～11歳で5.1kg、親世代は11歳～12歳で5.6kgとなっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成14年度生まれの者」が親世代と同時期となっています。一方、女子では、「平成14年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。

(kg) 図11 平成14年度生まれの者と昭和47年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・男子)



(kg) 図12 平成14年度生まれの者と昭和47年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・女子)



(3) 11年間(小1～高3)の総発育量の比較(表7)

身長(6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成14年度生まれの者」が親世代よりも男子は1.5cm、女子は0.9cm少なくなっています。

また、体重(6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成14年度生まれの者」が親世代よりも男子は0.2kg多く、女子は1.0kg少なくなっています。

身長と体重の発育量を小学校の時期(6歳から12歳までの時期)と中学校・高等学校の時期(12歳から17歳までの時期)とに分けてみると、小学校の時期は、男子の身長および体重で「平成14年度生まれの者」の方が親世代よりも多い一方、女子の身長および体重では親世代よりも少なくなっています。中学校・高等学校の時期は、女子の体重で「平成14年度生まれの者」が親世代よりも多くなっており、その他の数値は親世代よりも少なくなっています。

表7 「平成14年度生まれの者」と「昭和47年度生まれの者」(親世代)の年間発育量

区分	歳時	身長(cm)				体重(kg)			
		平成14年度生まれの者		昭和47年度生まれの者		平成14年度生まれの者		昭和47年度生まれの者	
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.5		5.5		2.5		2.6	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.9		5.4		3.0		2.7	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.2	35.5	5.8	34.3	2.9	21.5	3.1	21.2
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.2		4.6		3.4		3.0	
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.7		5.8		5.0		4.0	
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.0		7.2		4.7		5.8	
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.0		7.5		4.9		4.8	
	13歳(中2)～14歳(中3)	6.0		6.7		6.0		6.7	
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.2	17.8	3.6	20.5	4.1	19.4	4.5	19.5
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.4		1.7		2.3		2.6	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.2		1.0		2.1		0.9	
	11年間の総発育量	53.3		54.8		40.9		40.7	
年間発育量の最も大きい年齢	11歳～12歳 12歳～13歳		12歳～13歳		13歳～14歳		13歳～14歳		
女子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.8		6.0		2.1		2.3	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.9		5.2		3.0		2.5	
	8歳(小3)～9歳(小4)	6.6	36.0	6.0	36.2	3.5	21.0	3.5	22.3
	9歳(小4)～10歳(小5)	6.5		5.9		4.2		3.5	
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.9		7.0		5.1		4.9	
	11歳(小6)～12歳(中1)	4.3		6.1		3.1		5.6	
	12歳(中1)～13歳(中2)	3.8		3.8		5.0		4.6	
	13歳(中2)～14歳(中3)	1.5		2.1		2.6		2.7	
	14歳(中3)～15歳(高1)	0.0	6.8	0.8	7.5	1.2	10.8	2.4	10.5
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.2		0.4		2.0		0.6	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.3		0.4		0.0		0.2	
	11年間の総発育量	42.8		43.7		31.8		32.8	
年間発育量の最も大きい年齢	10歳～11歳		10歳～11歳		10歳～11歳		11歳～12歳		

(注)・年間発育量は、たとえば平成14年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成22年度調査の7歳の体格から平成21年度調査の6歳の体格を引いたものです。

- ・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
- ・平成14年度生まれの者とは、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた者で、平成21年度調査の6歳、令和2年度調査の17歳です。
- ・昭和47年度生まれの者とは、昭和47年4月2日から昭和48年4月1日までに生まれた者で、昭和54年度調査の6歳、平成2年度調査の17歳です。